



エコアクション21  
認証番号0001396

# エコアクション21 環境経営レポート

(運用期間:2018年10月21日~2019年10月20日)



尾下紙業株式会社

2019年 12月 11日 発行

# 目 次

## 1. 事業活動・組織の概要

- 1-1. 会社概要
- 1-2. 対象範囲
- 1-3. 事業の規模
- 1-4. 沿革
- 1-5. 組織図

## 2. 環境経営方針

- 2-1. 環境経営方針
- 2-2. エコアクション21実施体制及び責任・権限

## 3. 環境経営目標(及び基準年の環境負荷)

- 3-1. 環境経営目標
  - 基準年(2016年度)実績
  - 年度目標
  - 中期目標

## 4. 環境経営計画

- 4-1. 環境経営計画(項目)
- 4-2. 環境経営目標の実績と取組結果
- 4-3. 評価と次年度の取組内容
- 4-4. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

## 5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

## 6. 代表者による全体評価と見直しの結果

# 1. 事業活動・組織の概要

## 1-1. 会社概要

社名	尾下紙業株式会社
代表者名	代表取締役社長 尾下 浩一
設立	1954年(創業1933年)
資本金	1,000万円
従業員数	97名(2019年10月20日現在)
事業内容	・化粧品用段ボール箱の製造及び販売

## 1-2. 対象範囲

### ◇本社 (認証・登録対象外)

〒142-0043 東京都品川区二葉3丁目16番地8号  
☎03-3781-4976

対象外の理由: 登記上のみの本社の為

### ◇小田原工場 (認証・登録対象)

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町3丁目1番地22号  
☎0465-34-3250

事業内容: 化粧品用段ボール箱の  
製造及び販売

環境管理責任者 尾下 浩一  
担当者 安藤 雅人  
E-mail: m.ando@oshita-shigyo.co.jp

### ◇花王小田原事業所 (認証・登録対象外)

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町5丁目3番地27号  
☎0465-34-3735

事業内容: 花王株式会社小田原事業場内における倉庫管理業務

対象外の理由: 花王株式会社小田原事業場内の協力会社として  
同工場で推進しているISO14001の取組に包括  
され、一体化した環境管理活動を実施している為

### 1-3. 事業の規模

事業年度	2019年度(2018年10月21日～2019年10月20日)
売上額	4.3億円
従業員数	97名(小田原工場 23名、花王小田原事業所 74名)
延床面積	1,120m <sup>2</sup> (小田原工場)

### 1-4. 沿革

1933年	東京府赤羽区稲付町にて尾下紙器製作所を設立。
1941年	第2次大戦時、軍の依頼で小銃弾用ボール函を製造。
1944年	戦局激化、強制疎開により製作所を一時閉鎖。
1946年	終戦により上京し、製作所を再開。
1947年	東京都品川区二葉町に段ボール函製造工場を新設。
1954年	尾下紙器製作所を閉鎖し、尾下紙業株式会社を設立。
1963年	カネボウ化粧品大井工場の墨田区鐘ヶ淵移転に伴い、墨田工場を新設。
1969年	カネボウ化粧品鐘ヶ淵工場の小田原移転に伴い、小田原市寿町1丁目に小田原第1工場を新設。
1973年	段ボールケース受注増加に伴い、小田原市寿町3丁目に小田原第2工場を新設。
1978年	印刷用樹脂版製造機を導入。
1979年	ワンタッチケースグルアー(1号機)導入。
1981年	ワンタッチケースグルアー(2号機)導入。
2000年	自動平型打抜機、小ロット用打抜機、カッティングプロッター導入。
2007年	環境マネジメントシステム エコアクション21認証取得。

1-5. 組織図

# 本 社

登記上の本社は、東京都品川区二葉にありますが、  
実質上の本社機能は小田原工場にあり社長も小田原  
工場に常勤しています。

## 小田原工場

### エコアクション2.1対象範囲

総務部

総務課

営業部

営業課

技術開発課

生産管理課

製造部

製造課

## 花王小田原事業所

花王株式会社小田原事業場内  
に常駐(倉庫業務を請負)し常駐  
先の環境管理システム(ISO14  
001)に組み込まれ一体的な環  
境保全活動を実施している。

事務グループ

原料グループ

容器包材グループ

給瓶グループ

調合グループ

## 2. 環境経営方針

### 2-1. 環境経営方針

## 環境経営方針

尾下紙業株式会社は  
誠実・協調・努力・創造・感謝をモットーに  
段ボールを通じて、日本の循環型社会に貢献する  
企業を目指します

1. 電力、燃料、水の無駄な使用を抑え、使用量を抑制します
2. 製品製造での不良率の低減により、廃棄物の削減に努めます
3. 使用する化学物質の管理を強化し周辺環境への影響の低減に努めます
4. グリーン購入に努めます
5. 環境にやさしい段ボール製品の販路拡大に努めます
6. 全従業員の環境に対する認識を高めるため、教育・訓練の実施に努めます
7. 環境保全に関する法令やその他の規制等を遵守します
8. 私たちが働く地域の清掃活動等に積極的に参加します
9. FSC認証の紙を積極的に使用します
10. 環境経営の継続的改善に努め、持続可能な社会づくりを目指します

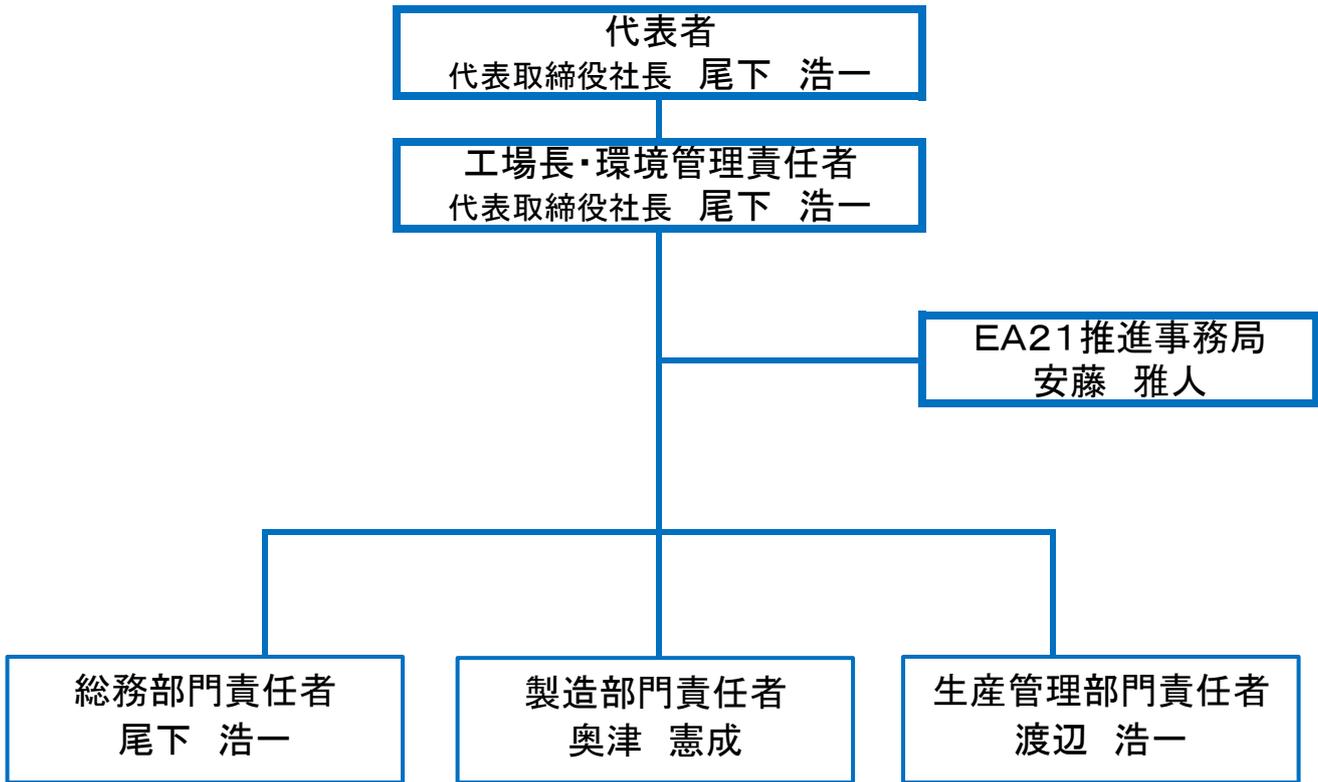
令和1年11月1日



尾下紙業株式会社

代表取締役社長 尾下 浩一

## 2-2. エコアクション21実施体制及び責任・権限



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21推進事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境経営の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する。 2. エコアクション21の活動に関する提案

### 3. 環境経営目標

#### 3-1. 環境経営目標

環境経営目標	単位	基準年実績	年度目標	中期目標	
		2016年度	2019年度	2020年度	2021年度
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	51,515.0	50,742.3 -1.5%	50,484.7 -2.0%	50,227.1 -2.5%
1. 電力使用量の削減	kWh	72,940.0	71,845.9 -1.5%	71,481.2 -2.0%	71,116.5 -2.5%
2. ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	107.8	103.5 -4.0%	102.9 -4.5%	102.4 -5.0%
3. ガソリン使用量の削減	L	2,573.7	2,535.1 -1.5%	2,522.2 -2.0%	2,509.4 -2.5%
4. 軽油使用量の削減	L	2,534.9	2,496.9 -1.5%	2,484.2 -2.0%	2,471.5 -2.5%
②廃棄物排出量の削減	t	184.5	181.7 -1.5%	180.8 -2.0%	179.9 -2.5%
③水使用量の削減	m <sup>3</sup>	650.0	578.5 -11.0%	575.3 -11.5%	572.0 -12.0%
④グリーン購入の拡大	%	54.9	56.0 +2%	56.3 +2.5%	56.5 +3%
⑤化学物質の徹底管理	-	徹底した管理と維持継続	継続	継続	継続
⑥製品の販路拡大	-	環境配慮製品の販路拡大を目指す	取引先拡大 前年度+1社以上!	取引先拡大 前年度+1社以上!	取引先拡大 前年度+1社以上!
⑦遵法対策の実施	-	制定、改正の確認及び評価	継続	継続	継続
⑧教育・訓練の推進	-	全体教育の実施 緊急時対応訓練	継続	継続	継続
⑨地域貢献の拡大	-	酒匂川清掃活動の参加(3名)	参加の継続 目標10名以上!	参加の継続 目標10名以上!	参加の継続 目標10名以上!

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.570(平成30年度実績:シナネン)

※ グリーン商品購入数/全(用品)購入数×100(%)

※ トラックの増加、ファンヒーターの廃止など、環境に大きな変化があった為  
**基準年を2016年**に設定し、新たに取り組むことにしました。

## 4. 環境経営計画

### 4-1. 環境経営計画(項目)

#### ①二酸化炭素排出量の1.5%削減

環境経営内容	取組項目
1. 電力使用量の1.5%削減	パソコンの電源管理
	エアコンの温度管理とフィルター清掃
	LED化の促進
	不要な照明の消灯
	各機材の省エネ仕様への切り替え
	残業時間の短縮
2. ガス使用量の4%削減	給湯器の使用効率化
	周辺器具(ホースなど)の点検
3. ガソリン使用量の1.5%削減 4. 軽油使用量の1.5%削減	車両の点検整備の徹底
	エコドライブの徹底
	アイドリングストップの実行
	配車計画の効率化
	車使用の削減(自転車、宅配利用)
	ドライブレコーダーの実装

#### ②廃棄物排出量の1.5%削減

環境経営内容	取組項目
1. 段ボール屑の削減	製品不良率の低減 紙類のリサイクル先の検討

#### ③水使用量の11%削減

環境経営内容	取組項目
1. 節水活動	フレキシソ洗浄の合理化
	トイレの節水(音消し装置の活用)
	配水管漏れチェックと対策の実施
	各水回りに節水シールの貼付
	集塵機の使用制限

#### ④グリーン購入の拡大 目標2%増

環境経営内容	取組項目
1. グリーン購入の拡大	事務用品のグリーン購入推進、その他エコ商品の調査

#### ⑤化学物質の徹底管理

環境経営内容	取組項目
1. 化学物質の徹底管理	徹底した管理と維持継続
	安全データシート(SDS)の確認と運用
	使用担当者への教育
	様々な資格を目標とした取り組み

#### ⑥製品の販路拡大

環境経営内容	取組項目
1. 製品の販路拡大	環境配慮製品の販路拡大を目指す(展示会への出展等) ネット環境を利用した施策

#### ⑦遵法対策の実施

環境経営内容	取組項目
1. 遵法対策の実施	制定、改正の確認及び評価

#### ⑧教育・訓練の推進

環境経営内容	取組項目
1. 教育・訓練の推進	全体教育の実施と緊急時対応訓練

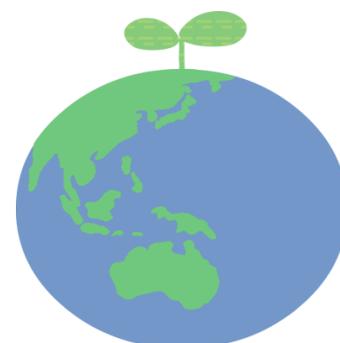
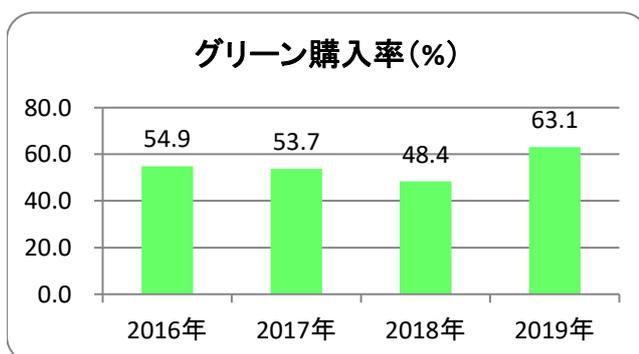
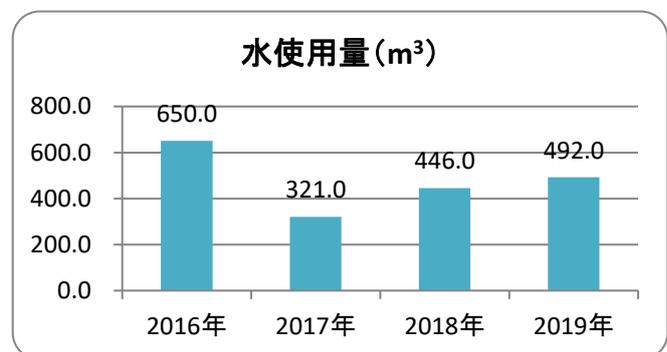
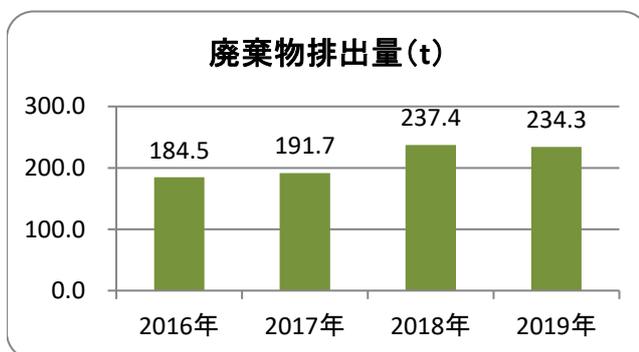
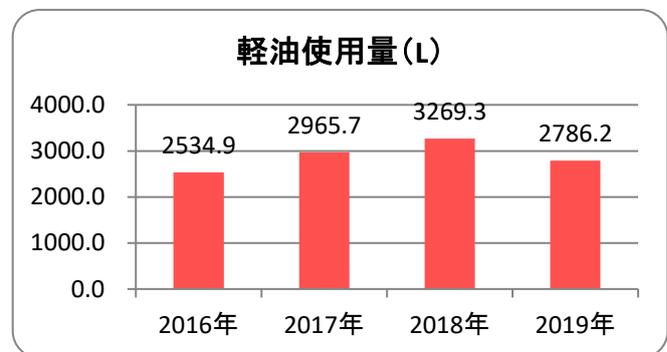
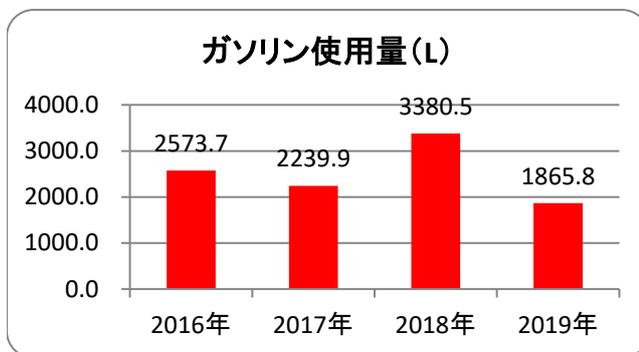
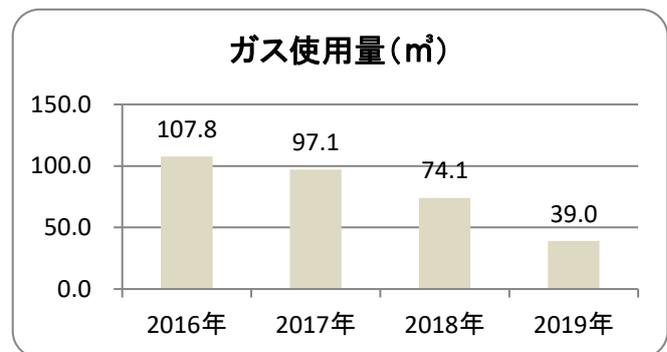
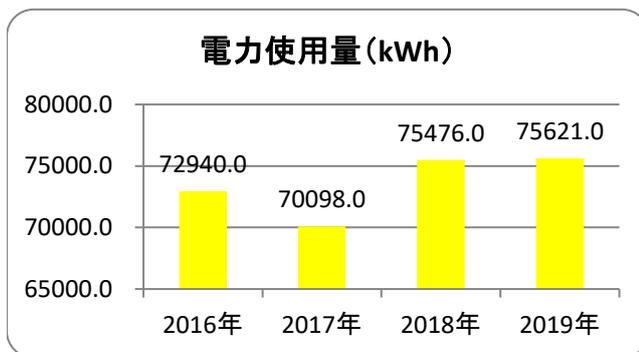
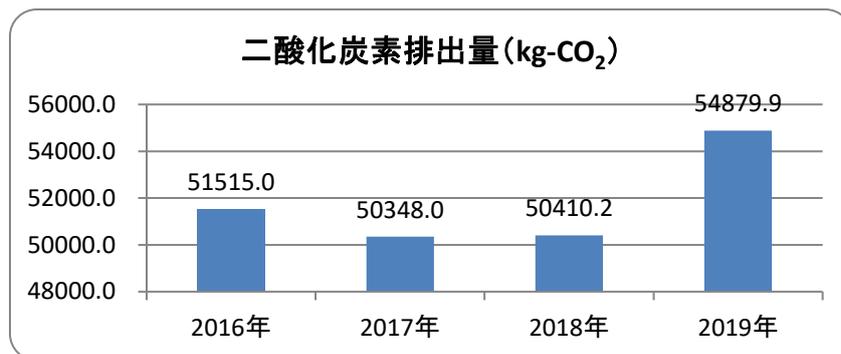
#### ⑨地域貢献の拡大

環境経営内容	取組項目
1. 地域貢献の拡大	地域の清掃活動への参加
	地元の環境活動への自主的参加の推進

## 4-2. 環境経営目標の実績と取組結果

環境経営目標	単位	2019年度 目標値	2019年度 実績	達成 区分
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	50,742.3 基準年度-1.5%	54,879.9 108%	×
	1. 電力使用量の削減	kWh 71,845.9 基準年度-1.5%	75,621.0 105%	×
	2. ガス使用量の削減	m <sup>3</sup> 103.5 基準年度-4%	39.0 38%	○
	3. ガソリン使用量の削減	L 2,535.1 基準年度-1.5%	1,865.8 74%	○
	4. 軽油使用量の削減	L 2,496.9 基準年度-1.5%	2,786.2 112%	×
②廃棄物排出量の削減	t	181.7 基準年度-1.5%	234.3 129%	×
③水使用量の削減	m <sup>3</sup>	578.5 基準年度-11%	492.0 85%	○
④グリーン購入の拡大	%	56.0 基準年度+2%	63.1 113%	○
⑤化学物質の徹底管理	-	徹底した管理と 維持継続	継続できています	○
⑥製品の販路拡大	-	取引先拡大 目標+1社以上!	取引先拡大 +1社	○
⑦遵法対策の実施	-	制定、改正の 確認及び評価	遵守できています	○
⑧教育・訓練の推進	-	全体教育の実施 緊急時対応訓練	教育・訓練実施完了	○
⑨地域貢献の拡大	-	参加の継続 目標10名以上!	今年も参加しました 今回の参加者は3名	△

## 4-2. 環境経営目標の実績と取組結果



### 4-3. 評価と次年度の取組内容

#### ①二酸化炭素排出量(電力、ガス、ガソリン、軽油)について

ガソリン・軽油の使用量が増加しているが原因は把握している。遠方への再送先が増えた事により、走行距離が伸びた事による影響が大きい。しかし9月にトラックを小型から中型へと切り替えた。それにより従来より3倍の積載が可能になり、1/3の輸送回数にする事が出来た。今後は従来のトラック3台での体制も見直していく。電力に関しては工場内で使用している蛍光灯がいずれ使用出来なくなるので、事務所同様にLED化を進め、使用量の削減に努めていく。ガスの使用量は今後も増加する要因がないので現状維持をしていく様心がける。

#### ②廃棄物排出量について

前年度より排出量が増加しているのは、不良率が減少していない事が大きな原因と考えられる。製品が破れて、破損する事なので印刷以降でのバイブレーターの設定を業者と協力しながら進めていってもらい、不良数削減を目指してもらいたい。

#### ③水使用量について

インク洗浄とトイレ利用時での使用が主な割合になっている。今後も節水の指導と、漏水での増加の防止を心がけていく。

#### ④グリーン購入の拡大について

事務用品が主な購入品目になるが、今後も優先的に購入するように心がけていく。

#### ⑤化学物質の徹底管理について

量の管理や、流出防止策は徹底されている。特に、溶剤関係の使用量は当面削減する事が困難な為、産廃業者と連携して、維持・管理をしていく。

#### ⑥製品の販路拡大について

新規案件の問い合わせや、展示会出展時での見積り依頼等を受注に繋げられるように、引き続き取り組み営業を強化していく。自社のみでは困難な案件に関しても、仕入れ業者等に協力を仰ぎながら契約に繋げていきたい。

#### ⑦遵法対策の実施について

法律・条例違反なし。今後も、法律・条例の変更等を把握し、速やかな対応をしていく。

#### ⑧教育・訓練の実施について

昨年度は予定していた防災訓練の日が台風の影響で中止になった。安全委員会の場や朝礼時に、環境教育の実施や、掲示物による案内も引き続き行っていく。

#### ⑨地域貢献の拡大について

地域で行っている、酒匂川の美化運動も年々マンネリ化しており、参加者も限られてきている。従業員が気軽に参加出来る企画や、工場周辺の美化運動も、業務時間内に取り入れられるように、今後検討していきたい。

#### 4-4. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標	単位	2020年度目標値	環境経営計画	責任者	日程
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	50,484.7 基準年度-2.0%	・電力、化石燃料使用量の削減 ・不良率の低減 ・極端に変動があった場合 時期に応じて目標値を見直す	尾下社長	年度末
1. 電力使用量の削減	kWh	71,481.2 基準年度-2.0%	・パソコンの電源管理 ・エアコンの温度管理とフィルター清掃 ・工場照明のLED化 ・不要な照明の消灯 ・各機材の省エネ仕様への切り替え ・トイレの便座温度の調整	尾下社長	3ヶ月毎
2. ガス使用量の削減	m <sup>3</sup>	102.9 基準年度-4.5%	・給湯器の使用効率化 ・周辺器具(ホースなど)の点検	安藤主任	3ヶ月毎
3. ガソリン使用量の削減	L	2,522.2 基準年度-2.0%	・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの実行	安藤主任	3ヶ月毎
4. 軽油使用量の削減	L	2,484.2 基準年度-2.0%	・配車計画の効率化 ・車使用の削減(自転車、宅配利用) ・ドライブレコーダーの実装		
②廃棄物排出量の削減	t	180.8 基準年度-2.0%	・製品不良率の低減 ・紙類のリサイクル先の検討	尾下社長	年度末
③水使用量の削減	m <sup>3</sup>	575.3 基準年度-11.5%	・フレキシソ洗浄の合理化 ・トイレの節水(音消し装置の活用) ・配水管漏れチェックと対策の実施 ・劣化したエコシールの貼替え	尾下社長	3ヶ月毎
④グリーン購入の拡大	%	56.3 基準年度+2.5%	・工場用品のグリーン購入推進 ・その他エコ商品の調査	尾下社長	毎月
⑤化学物質の徹底管理	-	徹底した管理と 維持継続	・徹底した管理と維持継続 ・安全データシート(SDS)の確認と運用 ・使用担当者への教育 ・専用の講習会への参加	尾下社長	年度末
⑥製品の販路拡大	-	取引先拡大 目標+1社以上!	・環境配慮製品の販路拡大を目指す (展示会への出展等) ・ネット環境を利用した施策	尾下社長	年度末
⑦遵法対策の実施	-	該当法規の更新 チェック	・制定、改正の確認及び評価	尾下社長	毎月
⑧教育・訓練の推進	-	教育・訓練の全員参 加	・全体教育の実施と緊急時対応訓練	尾下社長	訓練実施毎
⑨地域貢献の拡大	-	参加の継続 目標10名以上!	・地域の清掃活動への参加 ※地元環境活動への 自主的参加の推進	尾下社長	5月

# わたしたちの取組



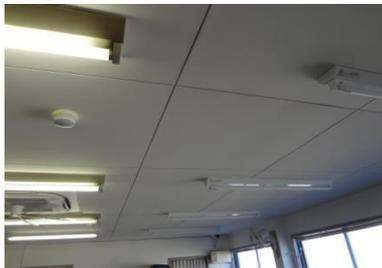
ファンを付けて効率アップ！



トイレに節電を呼びかけるポスター



エアコンや水道にも節電・節水の呼びかけ



使わない蛍光灯は消す！



クリーンさかわ  
酒匂川の清掃活動



地域の人みんなで  
一緒にゴミ拾い



毎年の防災訓練  
いざと言う時のために  
しっかり行います！



## 5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等の遵守状況は下記の通りです。

環境関連法規	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物(事務・厚生系)、産業廃棄物(段ボール屑・廃油等)
騒音・振動規制法	印刷機械(2台:フレキシダイカッター・プリスロッター)
消防法(危険物)	IPA(指定数量の1/5未満)
神奈川県生活環境保全条例	指定事業所・敷地境界線における騒音の規制

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果

- ・ 違反なし(過去3年間)
- ・ 訴訟なし(過去3年間)

## 6. 代表者による全体評価と見直しの結果

2019年 11月 1日 見直し実施

見直し結果

項目	変更の必要性
環境経営方針	大幅に変化のあった項目に関して、都度設定していく
環境経営計画	今回の範囲では変更の必要はないが、次回の成果等で判断していく
環境経営システム全体	今回の範囲では変更の必要はないが、次回の成果等で判断していく

代表者による全体評価

この数年、生産量が増加しており、二酸化炭素の排出量と廃棄物は増加している。配送先が変更になり、従来よりも走行距離が伸びた事により、ガソリンや軽油の使用量も増加している。

対策としては、本年秋に切り替えたトラックの大型化により、積載効率がアップした為、次年度は走行距離を減らす事が可能になり燃料削減を期待している。

また、主な懸案事項としては廃棄物の削減が急務と考えられる。不良率の増加が原因と把握できているので、保全と機械メーカーと協力して対策を立てていく。不良率の低下が利益にも繋がっていくので、最優先に取り組んでいきたい。また、社員の環境に対する意識を向上させる為の教育も充実していく。

昨今、至る所で話題になっているSDGsや、FSC認証の段ボールの使用の意義や理由についての理解も深めて、環境を通しての企業を目指し、社会貢献していくように導いていく。



エコアクション21 環境経営レポート

運用期間：2018年10月21日～2019年10月20日

発行日：2019年 12月 11日

 尾下紙業株式会社 小田原工場

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町3丁目1番地22号

TEL: 0465-34-3250